



# もっと交野を元気に 交野の可能性を探る



「交野を元気にする」をキーワードに「地域振興・健康づくり」について、市長をファシリテーター（進行役）に、赤星憲広さんと市関係団体のみなさんが座談会を行いました。

## 地域の魅力を より発信していくか

**佐藤** 交野は七夕のまちといわれており、機物神社と星田妙見宮という織姫を祭る神社があります。これをPRするイベントをマラソンと一緒にするのも良いのではないのでしょうか。

さらには、交野市に眠る資源を観光資源にしていきたいと考えています。例えば

ば、天野川上流には磐船峡という、とてもきれいな峡谷があります。しかし、約50年前の台風により道が通れなくなり、残念ながら今は閉山となっています。観光協会では、ここを復活させたいと府や市に声掛けをしています。

私は税金だけでなく「ふるさと寄附」で善意の資金を集め、市民も道普請で汗を流すなど、官民一体で磐船峡を復活させたいです。

## 交野の 地場産について

**下阪** 農業生産連合会では、現在、赤いジャガイモ「レッドムーン」の生産を、春

秋の2回行っているのですが、農業ボランティアのメンバーに野菜ソムリエがいるので、ゆくゆくは加工商品の開発も考えています。

また、「ふるさと寄附」の特産品として、冬期には、白菜・水菜・大根を鍋セットとして、また季節の野菜や玉ネギ・ニンジン・ジャガイモをカレーセットとして送るのも良いのではないかとこの意見もあります。

**田中(政)** 商業連合会では、「ふるさと寄附」の特産品を提供している店が3軒あります。1軒目は、老舗の茶屋「かをり園」で、ベテランの店主がよりすべりのお茶を用意しています。2軒目は、地元で有名な酒蔵の「山

野酒造」、3軒目は経験豊富なパティシエが洋菓子を作る「ウグイスヤ」で、全国の人に大変満足していただけている商品を用意しています。

また、商業連合会には新商品開発部があり、山野酒造の協力をいただき、酒粕シエラトを開発しました。市内の商店や飲食店、スーパーなどで買うことができます。

さらに、最近では、神宮寺のキウイや星田のレモンを使ったシエラトも開発され、セットで「ふるさと寄附」の特産品になればと考えています。交野の地場産物を使いながら新しい商品を生み出したり、農業生産連合会と協力しながら、より良いものを提供してい

きたいと思っています。

## 地域の雇用や産業振興の 地域活性化について

**田中(有)** 交野を全国と見比べると、有名な観光地がないため、交野の知名度は低いです。活性化にどう結び付けるかということがですが、交野市に点在する名所旧跡や物づくりの場所、飲食の場所を結び付ける取り組みをすれば良いのではないかと考えています。

工業会では昨年8月に、「交野ものづくり工場巡り」を初めて実施しました。5台のマイクロボスで、市内の工場をコース別に巡るという企画で、320人に参

加いただき、大変好評を得ました。

新たに里山めぐりコースをつくり、交野マラソンと同時に開催で行えば、祖父母と孫など幅広い年齢層の人が、参加できるのではないかと思います。

## 健康づくり マラソン

**波戸** やっぱり普段から体を動かさないといけないですね。太陽の光が当たるところで、ジョギングやウォーキングをすると骨も丈夫になります。

医師会は、交野マラソンで救護所を担当しています。4年間、みなさん大きなげもなく、大会が開催できて私たちも安心しています。救護所にいるのも、市民に触れ合う良い機会です。みなさんいろいろな話がありました。

のみなさんの健康を守っている結果で、大変素晴らしいことだと思っています。そのためにも医者として、できるだけ健康寿命が伸びるように協力していきたいと思っています。

**赤星** 今、いろいろな分野の方のお話を聞いて、やっぱりみなさんは交野市のことを思い、取り組んでいただいているということが強く感じました。



この交野マラソンは、日本全国から参加いただいています。だから、「交野市にはこんないいところがあるんだよ」「こういうものを作っているんだよ」と知ってもらえる発信源として、みなさんの考えていること

を交野マラソンとうまく融合させてやっていければと思います。

こういう形で、いろいろな意見を聞けば聞くほど、私も頑張らないといけないなという気持ちになりました。今後、より良い交野市となるよう、協力していきたいです。

## 交野を元気にする マラソン

**横尾** 体育協会が、市政40周年という節目に、市を盛り上げようと始めたマラソンですが、第1回目は、千人程度の参加者があればいいのではないかと考えて出発しました。しかし、赤星さんのご尽力で、マスコミに宣伝していただいたことにより、第1回目から約6千人が集まるマラソン大会になりました。

昨年も7千人近いランナーに全国から参加いただきました。沿道では、高校生による吹奏楽の応援や交野市民と触れ合う機会があ

り、このおもてなしが毎回参加するランナーの心をつかんでいるのではないかと感じます。

また、当日はランナーとボランティア・応援する人を含め、約1万人が交野市に集まっています。だから、交野の特産品やお土産をもっと作って、全国から来るランナーに知ってもらい、買っていただければ、マラソンを開催する目的も

### 座談会参加メンバーのみなさん



交野市体育協会  
会長 横尾一彦



交野市星のまち観光  
協会会長 佐藤義也



交野市工業会  
会長 田中有



交野市医師会  
会長 波戸良光



交野市農業生産連  
合会顧問 下阪敏之



交野市商業連合会  
会長 田中政夫

大きくなるのではないかと  
思います。

**市長** 昨年初めて最後まで参加して思ったことは、スポーツのイベントなので、けががなく無事に終わるのが一番大事なことだと思います。

これから高齢化社会を迎える中で、マラソンというものの意義は医師の見地からいかがでしょうか。

(次ページに続く)



**波戸** 走る前に、しっかりとストレッチができていないと感じました。ラジオ体操でも良いので、マラソンを始める前に何かあればいいのかなと思います。

また、高齢者も参加して、不整脈の人を救護することもありますので、走る前に健康診断や問診などが将来的に必要なと思います。ただ、今回もたくさんの方が参加するということ、身の引き締まる思いです。

**マラソンにはどのような可能性があるのか**

**田中(政)** 私たちが注目しているのは、グループで参加したランナーの打ち上げ会や反省会が、市外で行われているということです。

「それはちょっと足止めせんとあかんやろ」と思っています。市内飲食店に周知し、受け入れ体制が取れるようになれば、今まで市外に流れていたお客さんを市内で受け止めて、その分の

経済効果を発揮していけるのではないかと思います。もう一つは、毎年春に「おひめ桜まつり」というイベントを開催しています。今年は、市内の飲食店を食べ歩きする「バル」形式で、チケット販売を企画中です。これをマラソンに来た人たちに利用していただければと思っています。



**佐藤**

交野マラソンで私は、カメラマンも兼ねて毎回写真を撮っているのですが、車いすランナーが、本当にうれしそうなお顔で赤星さんの後ろや横を走っておられます。その様子を見て、現

役時代に「盗塁の数だけ車いすを」と活動していた赤星さんらしいマラソンの姿で、そこに交野市らしい福祉が実現されており、本当に感謝申し上げます。

観光協会では交野マラソンの時に、商業連合会や農業生産連合会とテント村の商店街をつくり、交野物産や観光グッズを販売しています。

今全国で、ゆるキャラが大変人気です。交野マラソンでも「ゆるキャラ」で全国のゆるキャラによるマラソン実施も、交野の知名度アップになると思います。

また、市民がもっとマラソンに関心を持つという意味では、地域に分かれて地区ごとのリレーを行い、幼稚園児から80歳代の高齢者までが、わがまちのために走るというのはどうでしょうか。どの地区が一番だったという話題性、「市長賞」や「赤星賞」が出るようになったら、みなさんは健康づくりにためにもっと頑張るのではないのでしょうか。市外

赤星さんから!

**「ふるさと寄附」をしていただきました**

53

12月16日(水)、赤星さんが市役所を訪れ、交野市に53万円(現役時代の背番号)の「ふるさと寄附」をしていただきました。

★赤星さんの交野への思い★

現役時代にはほとんど訪れたことがなかった交野ですが、マラソン大会をスタートさせてから、市民のみなさんと接する機会が増えました。沿道の応援やボランティアのみなさんが、市を盛り上げようとしている気持ちがすごく伝わり、本当に良いまちだなと感じています。

これからも交野がより良いまちになるように、少しでもお力になれたらという思いで、ふるさと寄附を活用しました。

■「ふるさと寄附」

詳しくは、ホームページ(<http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/27230>)をご覧ください。

問い合わせ 秘書・政策企画課(TEL 892・0121)



からはゆるキャラ、市内からは健康リレーで盛り上げられたらと思います。

**市長**

限られた時間の中で、中身の濃いお話をさせていただきました。このたび、佐藤会長のご提案により、赤星さんを交えて、市民の健康づくりや交野を盛り上げる話をする機会が設けられま

した。赤星さんには、快く引き受けていただいたことに感謝します。

本日は座談会ということで、多岐に渡りましてみなさんのご意見をいただいて参りました。今後いろいろな機会、議論を深めていきたいと思っております。本日はご参加いただき、ありがとうございました。